

2026年3月期 決算説明会

2026年4月22日(水)
株式会社オービック

Organization for **B**usiness **I**nnovation and **C**ommunication

■ 2026年3月期 決算について

■ 直近の取り組み

■ 2027年3月期 業績見通し

連結業績 概要

全段階利益において二桁の増益を達成し、過去最高を更新
高い収益性を背景に、EPSも前期比116.8%と着実に伸長

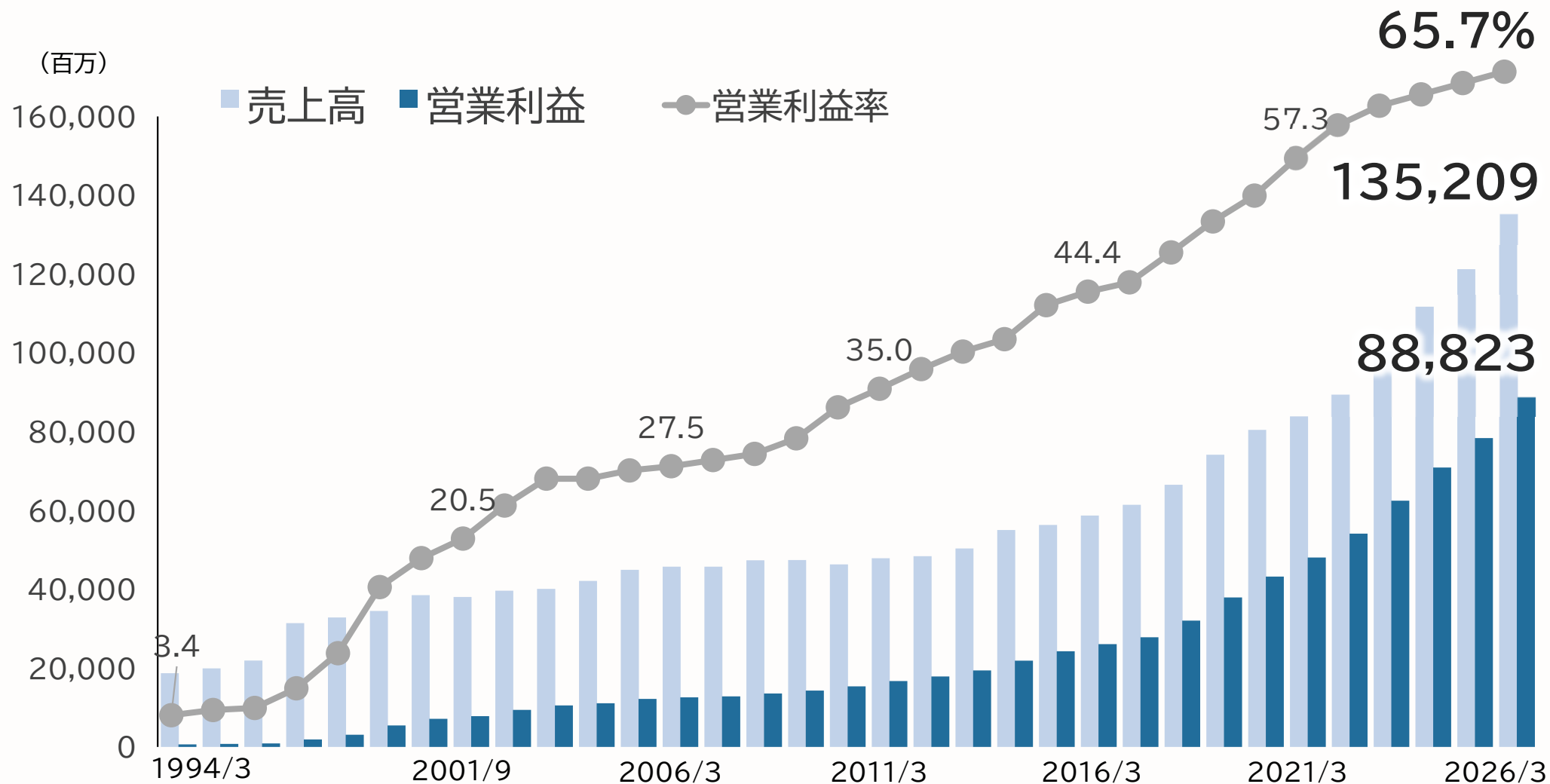
(単位:百万円)

	2025/3	2026/3	前期比
売上高	121,240	135,209	111.5%
営業利益	78,378	88,823	113.3%
経常利益	89,770	104,779	116.7%
当期純利益	64,621	75,191	116.4%
1株当たり当期純利益(円) <EPS>	146.90	171.61	116.8%
発行済株式総数(千株) <期中平均>	439,887	438,154	-

(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」「発行済株式総数」を算定しております。

持続的な成長性

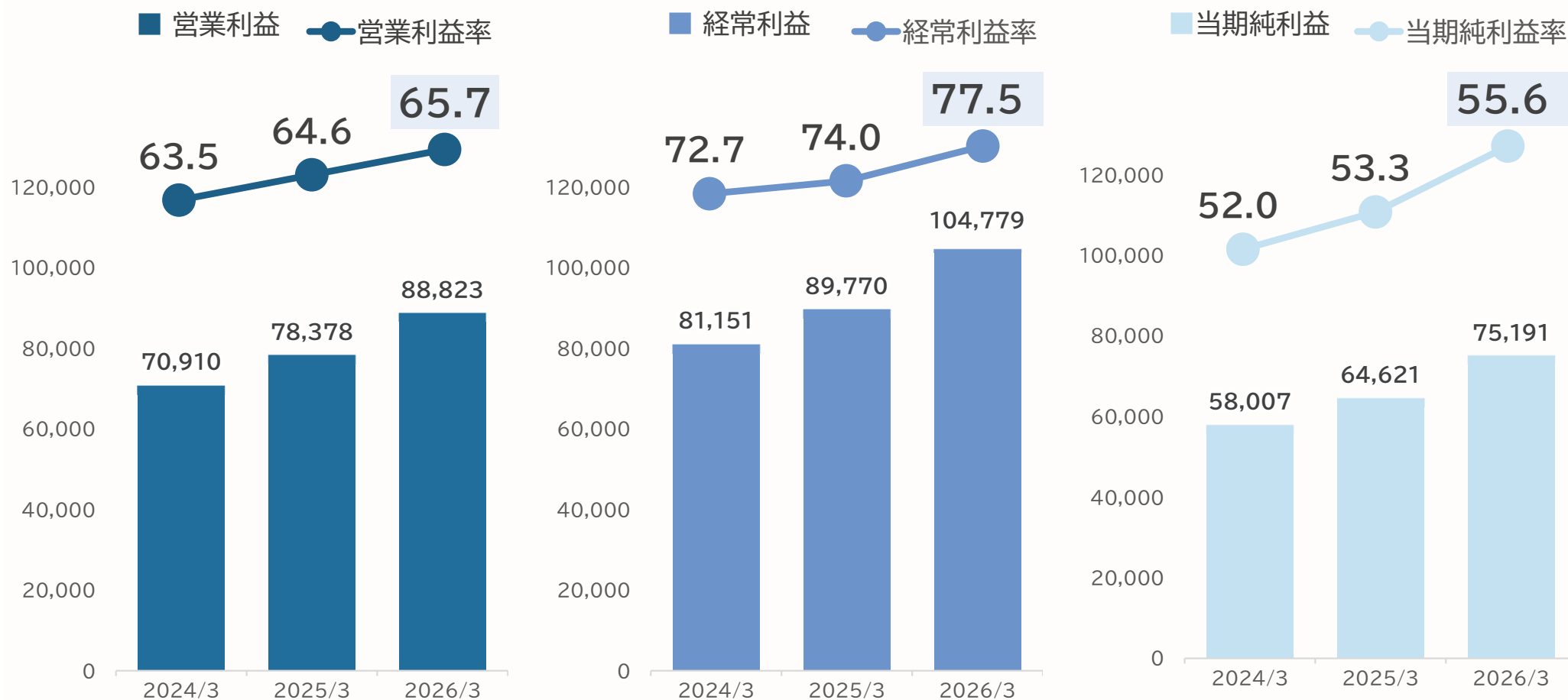
営業利益は32期連続増益を達成し、利益率も過去最高を更新
ビジネスモデルの深化により、持続的な成長を実現



収益性

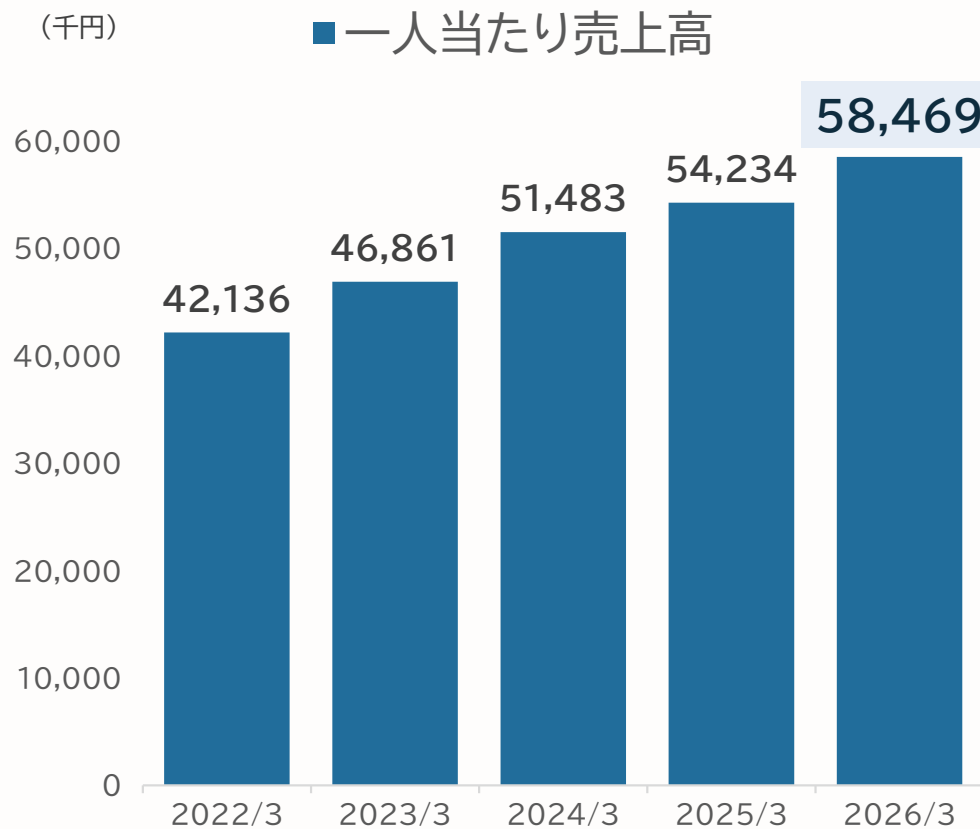
大手・中堅企業への付加価値提案力向上より
営業・経常・当期純利益の全段階で利益率が改善

(百万)

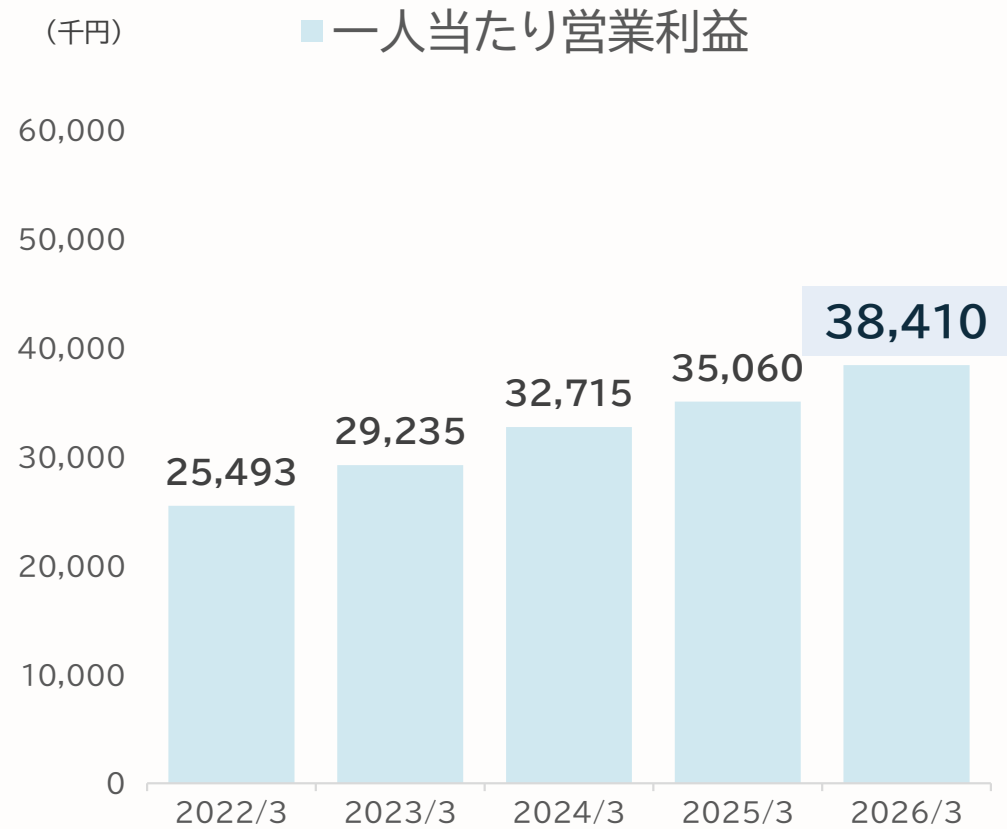


生産性

大型プロジェクトの経験値や業種・業界ノウハウ蓄積により
社員一人当たりの売上高・営業利益が改善



※期中平均従業員数で算出



※期中平均従業員数で算出

連結セグメント情報

全セグメントにおいて増収増益を達成し、収益性が改善
主力のSI事業の着実な伸長によりSS事業の成長も再加速

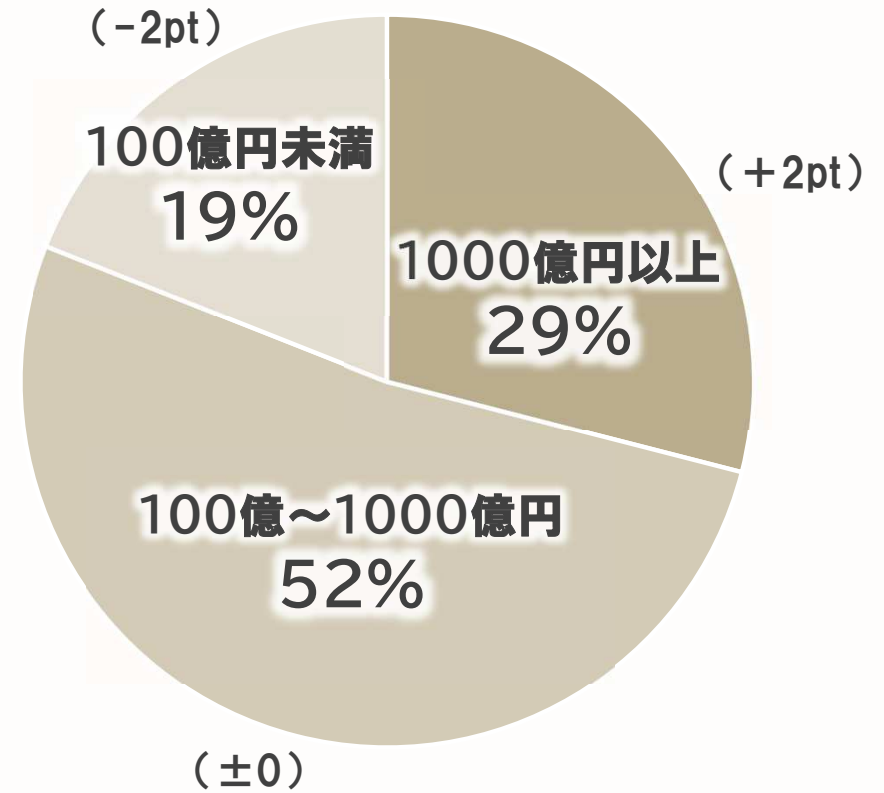
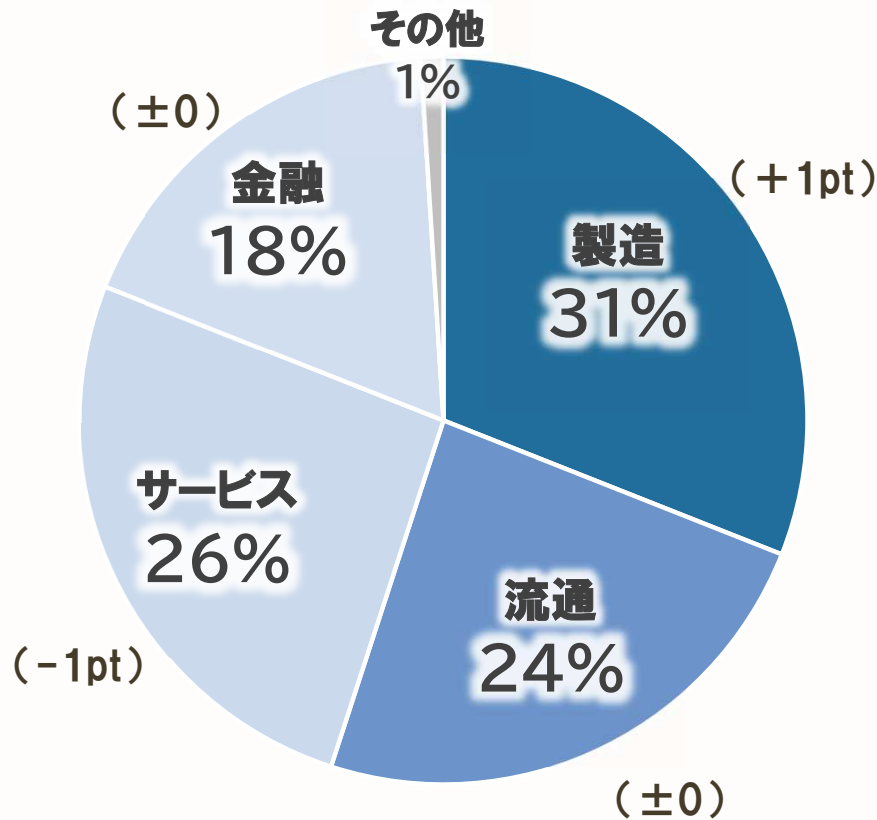
(百万円)

		2025/3期	2026/3期	前期比
SI事業	売上高	50,329	55,250	109.8%
	営業利益	29,895	32,982	110.3%
	営業利益率	59.4%	59.7%	
SS事業	売上高	63,028	71,508	113.5%
	営業利益	45,912	52,896	115.2%
	営業利益率	72.8%	74.0%	
OA事業	売上高	7,882	8,451	107.2%
	営業利益	2,571	2,944	114.5%
	営業利益率	32.6%	34.8%	
合 計	売上高	121,240	135,209	111.5%
	営業利益	78,378	88,823	113.3%
	営業利益率	64.6%	65.7%	

業種・年商規模別トレンド

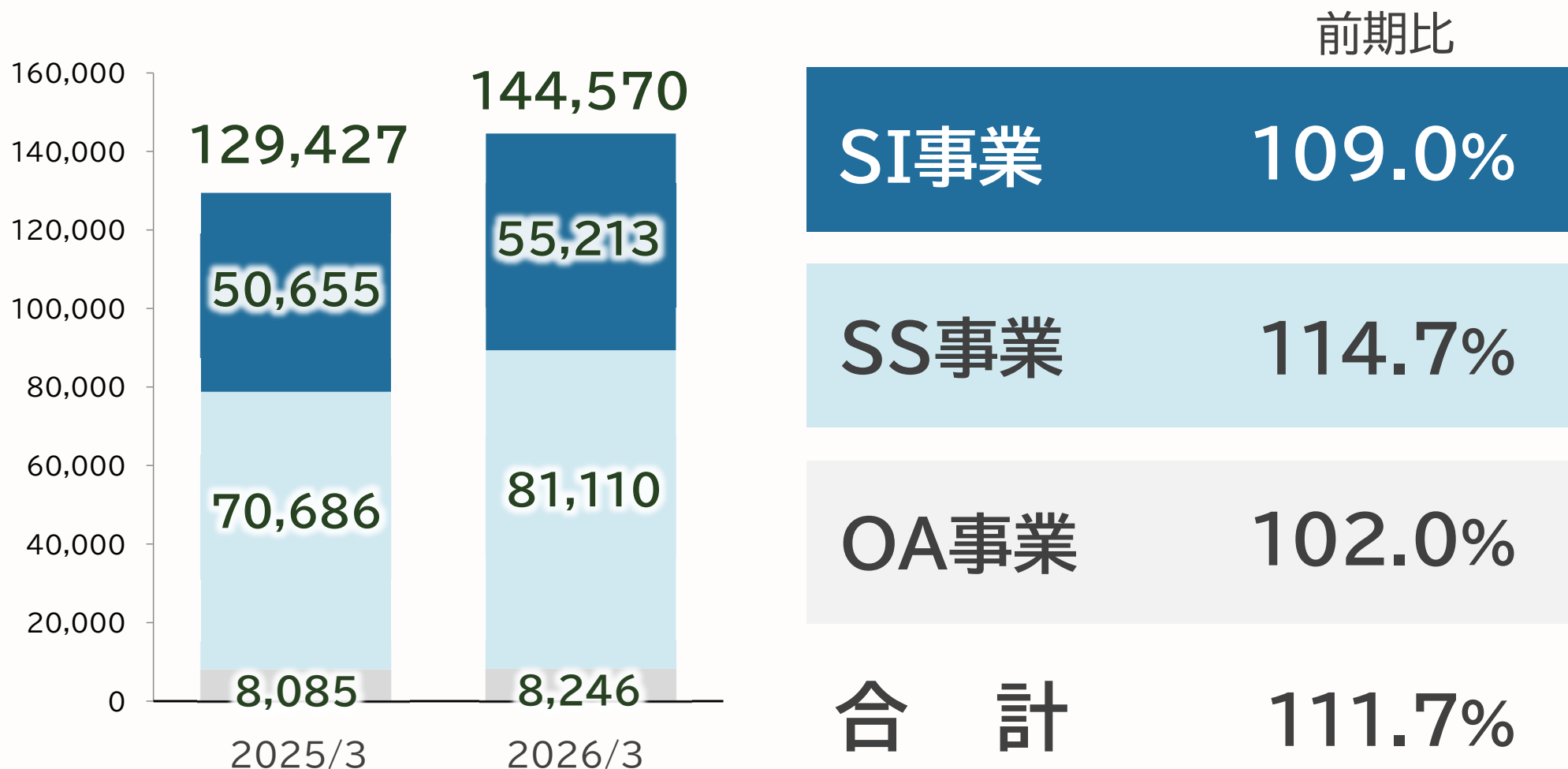
*SI売上に占める構成比 カッコ内は前年同期比

年商1000億円以上の大手企業からの引き合いが増加
特定業種に偏りなくバランスよく構成



連結セグメント受注高

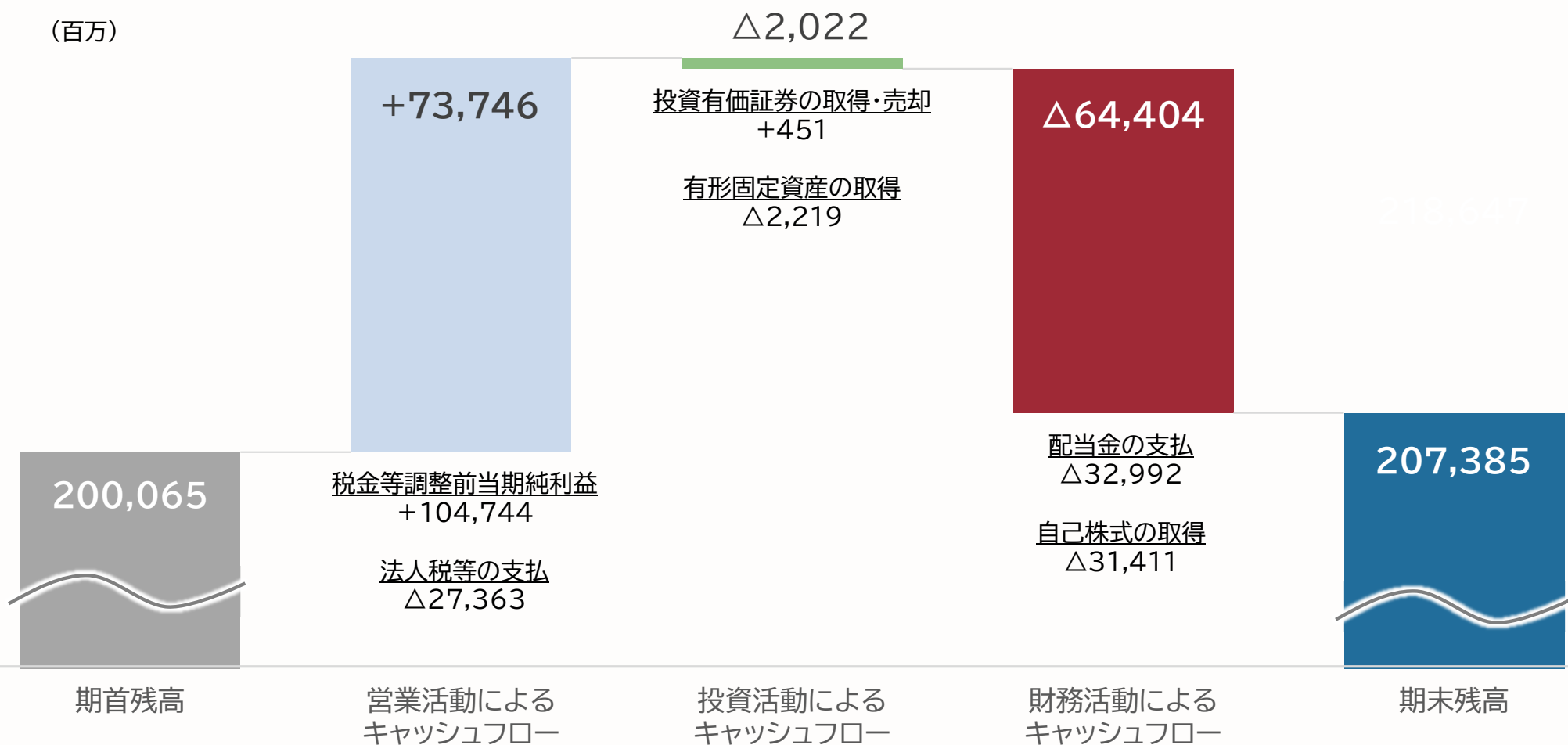
全セグメントで受注が堅調に推移し、二桁成長を達成
SS事業を中心にさらなる業績拡大に向けた収益基盤を強化



連結キャッシュフロー

営業活動と戦略投資により創出したFCFを原資として
配当や機動的な自己株式取得など株主還元を実施

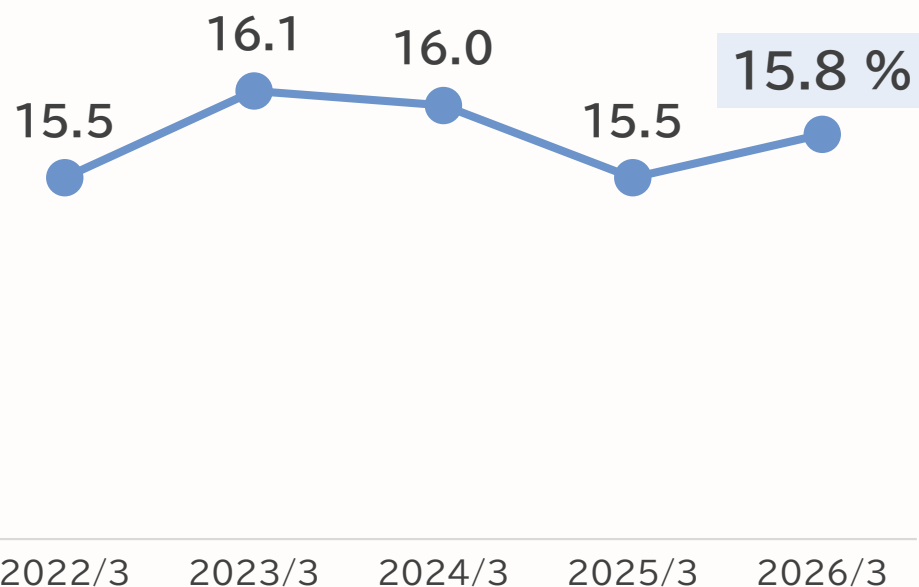
(百万)



資本効率性

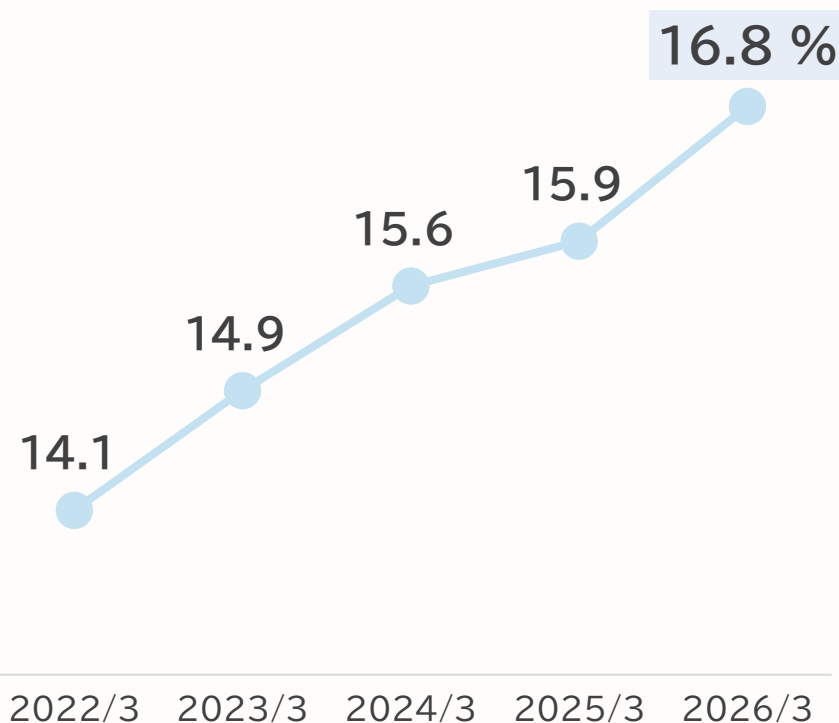
高水準の収益力維持と機動的な資本政策を継続的に実行
ROE・ROICなど各資本効率指標の着実な上昇を実現

● ROE(自己資本利益率)



※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本

● ROIC(投下資本利益率)



※ROIC = 営業利益(税引後) ÷ (株主資本+有利子負債額)

■ 2026年3月期 決算について

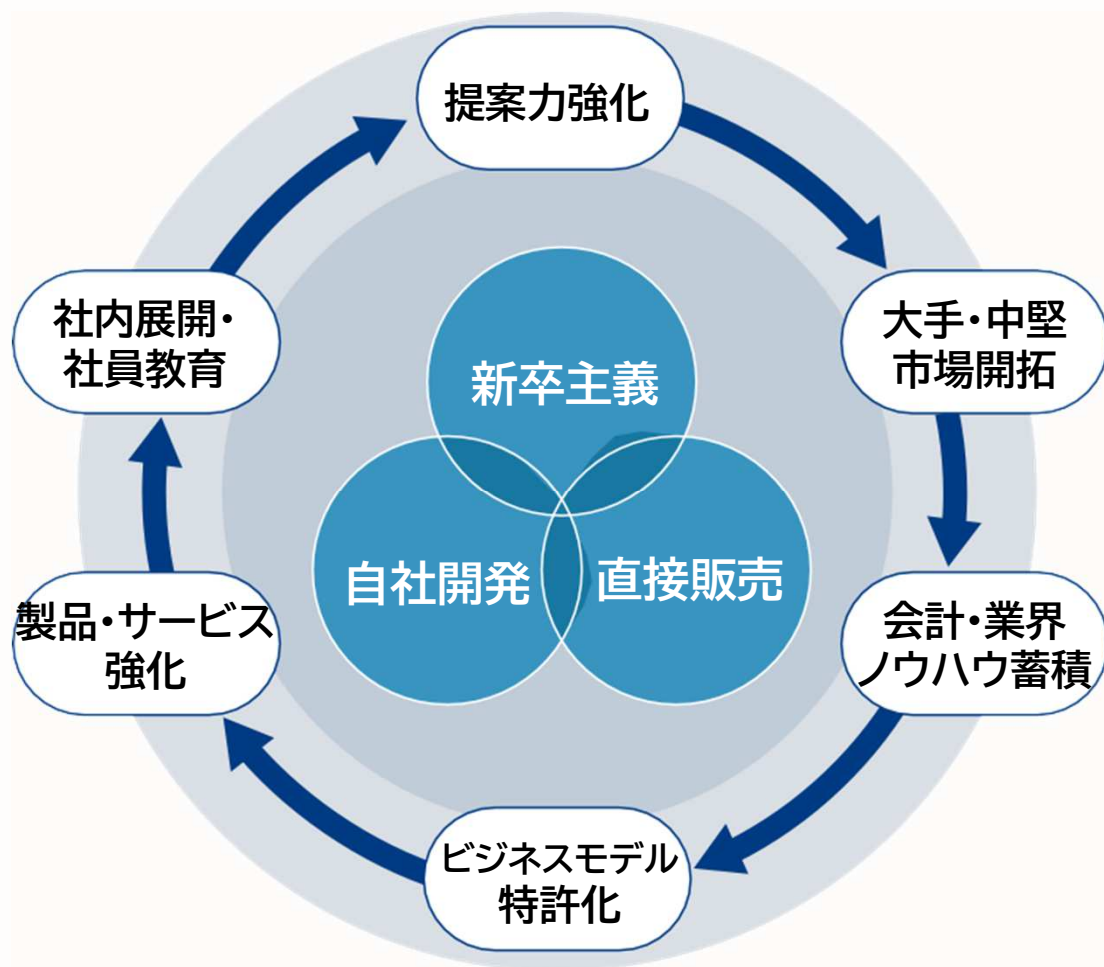
■ 直近の取り組み

■ 2027年3月期 業績見通し

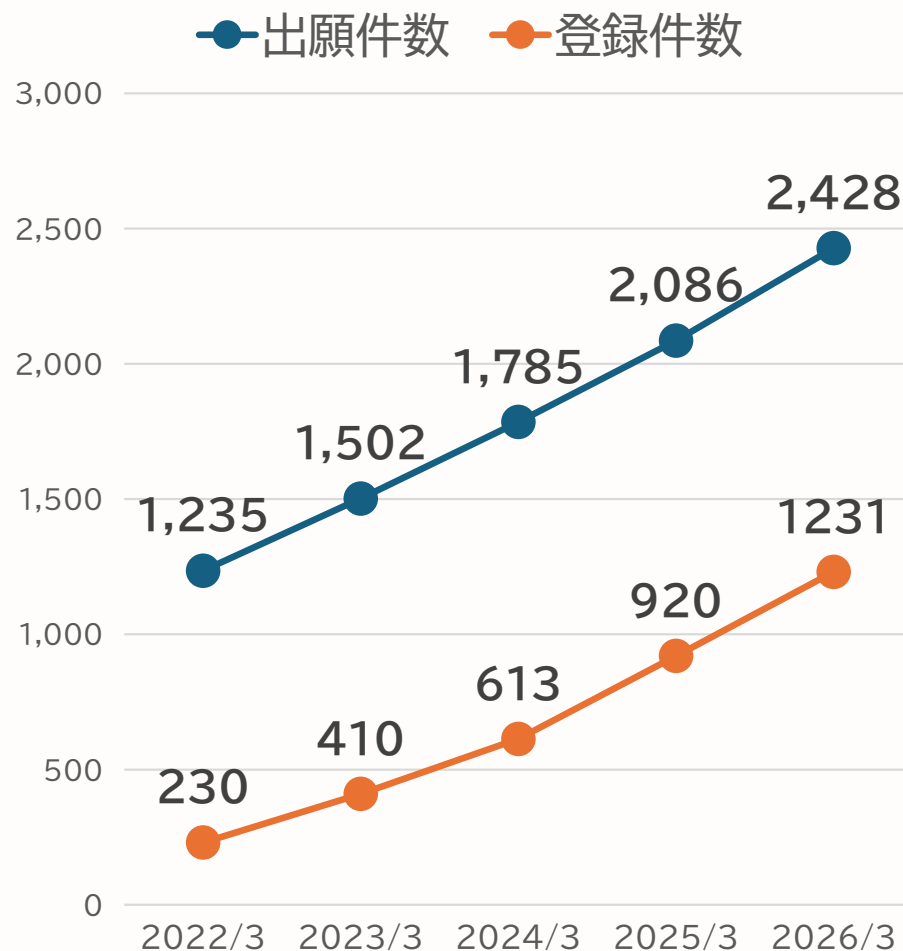
知財戦略-AI-

顧客の経営課題の解決につながるAI関連特許を蓄積し
さらなる付加価値提案力の向上を推進

知的財産の蓄積プロセス



特許件数(累計)



知財戦略-AI-

AI技術の台頭は脅威ではなく、さらなる成長のチャンス

自社開発・直接販売で蓄積した豊富な業界・業務ノウハウとAI技術を融合し、サービス品質の向上と生産性改善を加速させます。徹底した社内実践を通じてAI活用を「独自の優位性」へと高め、顧客ニーズを捉えた迅速なソリューション提供により、さらなる付加価値を創出し、当社の持続的成長へと繋がります。

徹底的な社内でのAI活用

顧客企業への提供

マーケティング 営業	提案の質 向上	戦略立案	市場調査
		提案書作成支援	議事録の自動作成
製品開発	開発スピード 品質向上	設計書作成支援	プログラム自動生成
		品質チェック	テスト自動化
顧客 サポート	サポート品質 満足度向上	問合せ対応の早期化	顧客の喪失リスク 分析
		社内情報検索	サポート記事の作成

OBIC7 AIソリューション

経営分析AI

意思決定支援AI

入力支援AI

ログ分析AI

■ 2026年3月期 決算について

■ 直近の取り組み

■ 2027年3月期 業績見通し

2027年3月期 通期計画

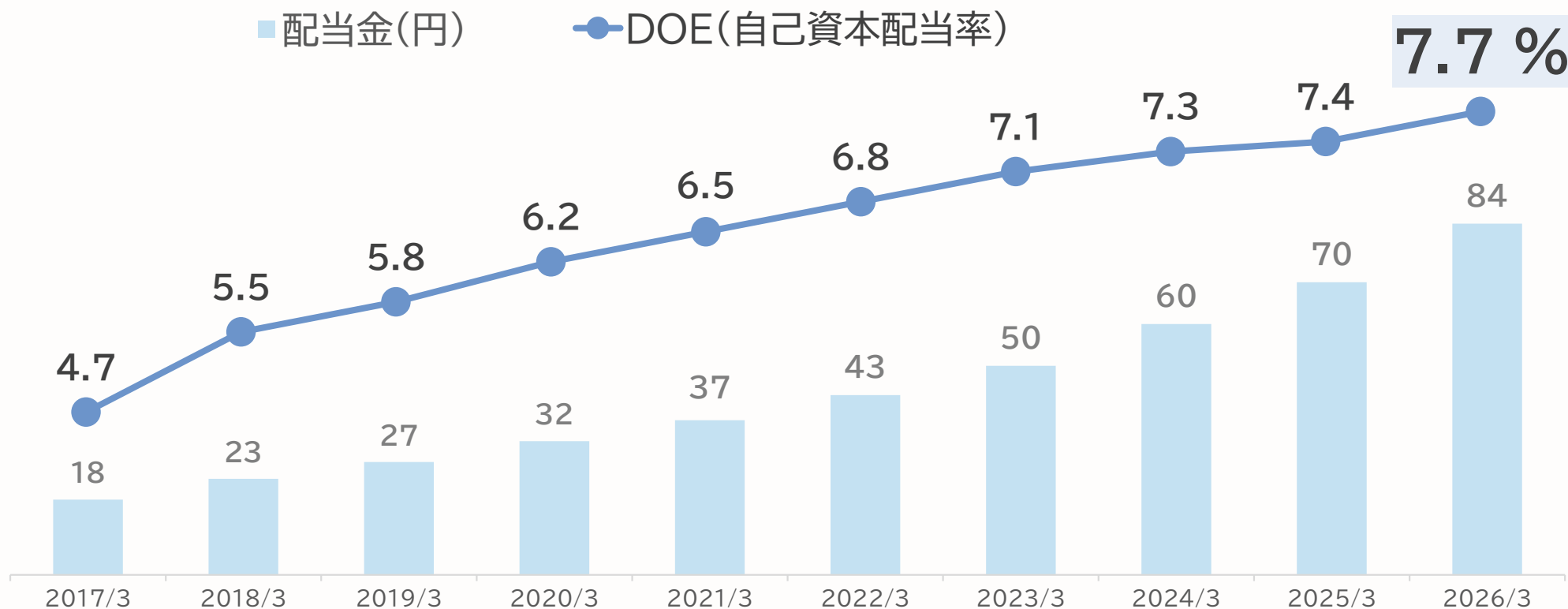
売上高・営業利益ともに二桁成長の継続を目指す
AI活用等による付加価値向上で企業価値の最大化を実現

(百万円)

	業績予想	前期比	利益率
売上高	148,700	110.0%	-
営業利益	98,000	110.3%	65.9%
経常利益	114,500	109.3%	77.0%
当期純利益	82,000	109.1%	55.1%

株主還元強化 配当金

10年間でDOEは3.0ポイント上昇し、株主還元の質的向上を継続
引き続き、長期・安定・継続的な株主還元を実行

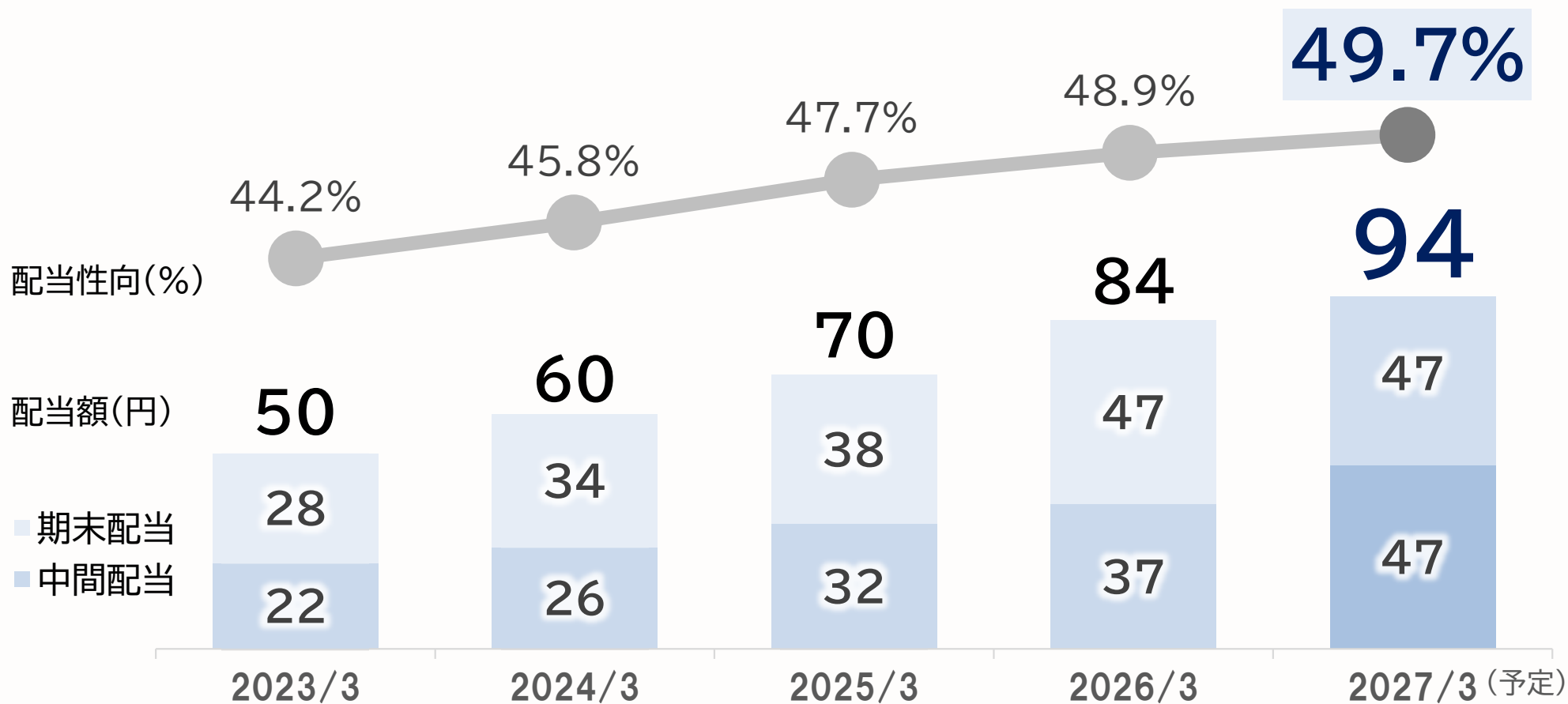


※DOE = 年間配当総額 ÷ 自己資本

(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
2017年3月期～2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当額を算定しております。

株主還元強化 配当金

27年3月期は年間94円を計画し、着実な増配を継続
連結配当性向を安定的に改善し、積極的な利益還元を推進

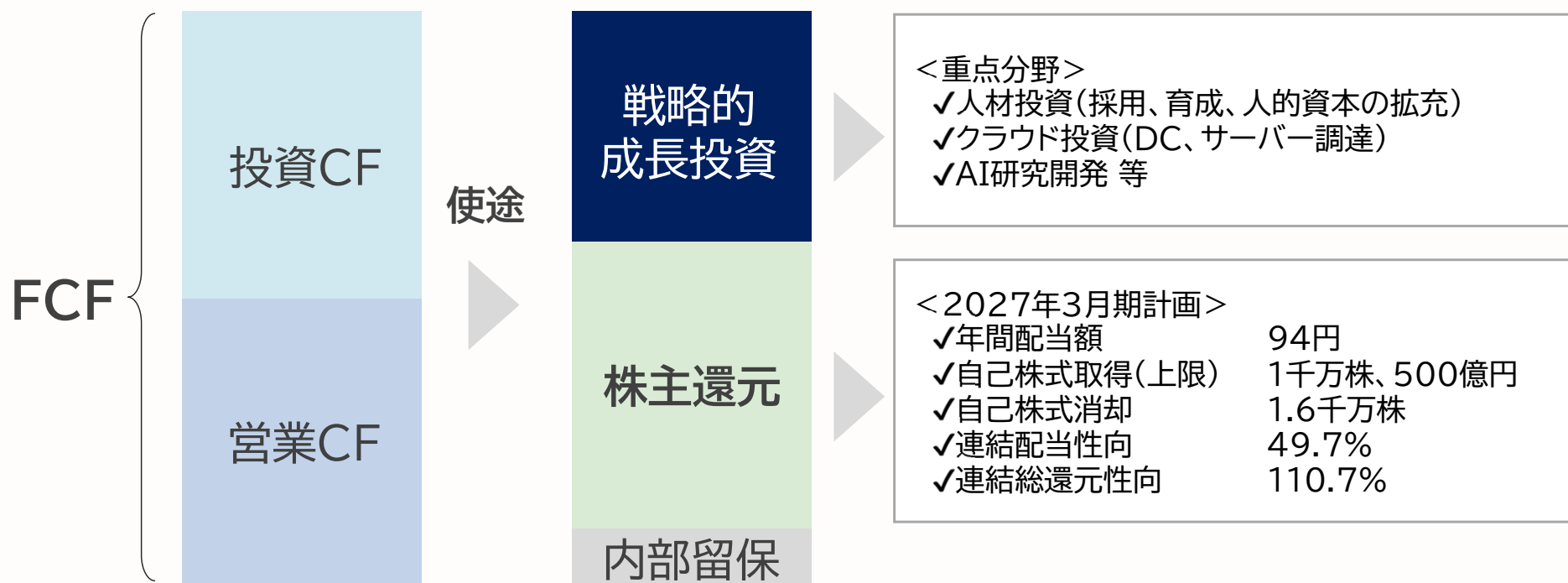


(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
2023年3月期～2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当額を算定しております。

キャピタルアロケーション方針

持続的な企業価値向上を目的とし、資本コストを上回る収益性を確保できる成長領域への投資をキャピタルアロケーションの最優先事項とします。事業活動から創出されたフリーキャッシュフロー(FCF)については、まず将来の競争優位性を高めるため、人材やクラウド、AIなどの戦略的成長投資に充当し、あわせて株主還元の充実を図ります。

株主還元については、安定的かつ継続的な配当を基本として連結配当性向の維持・向上に努めてまいります。さらに、配当実施後の資金については、資本効率の向上と株主価値の最大化を図る観点から、機動的な自己株式の取得等に活用いたします。



経営の基本方針

量と質の経営

コンプライアンス重視

効率経営

イノベーション経営の推進

選択と集中

継続こそ企業発展のキーワード



www.obic.co.jp

本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的とするものではありません。